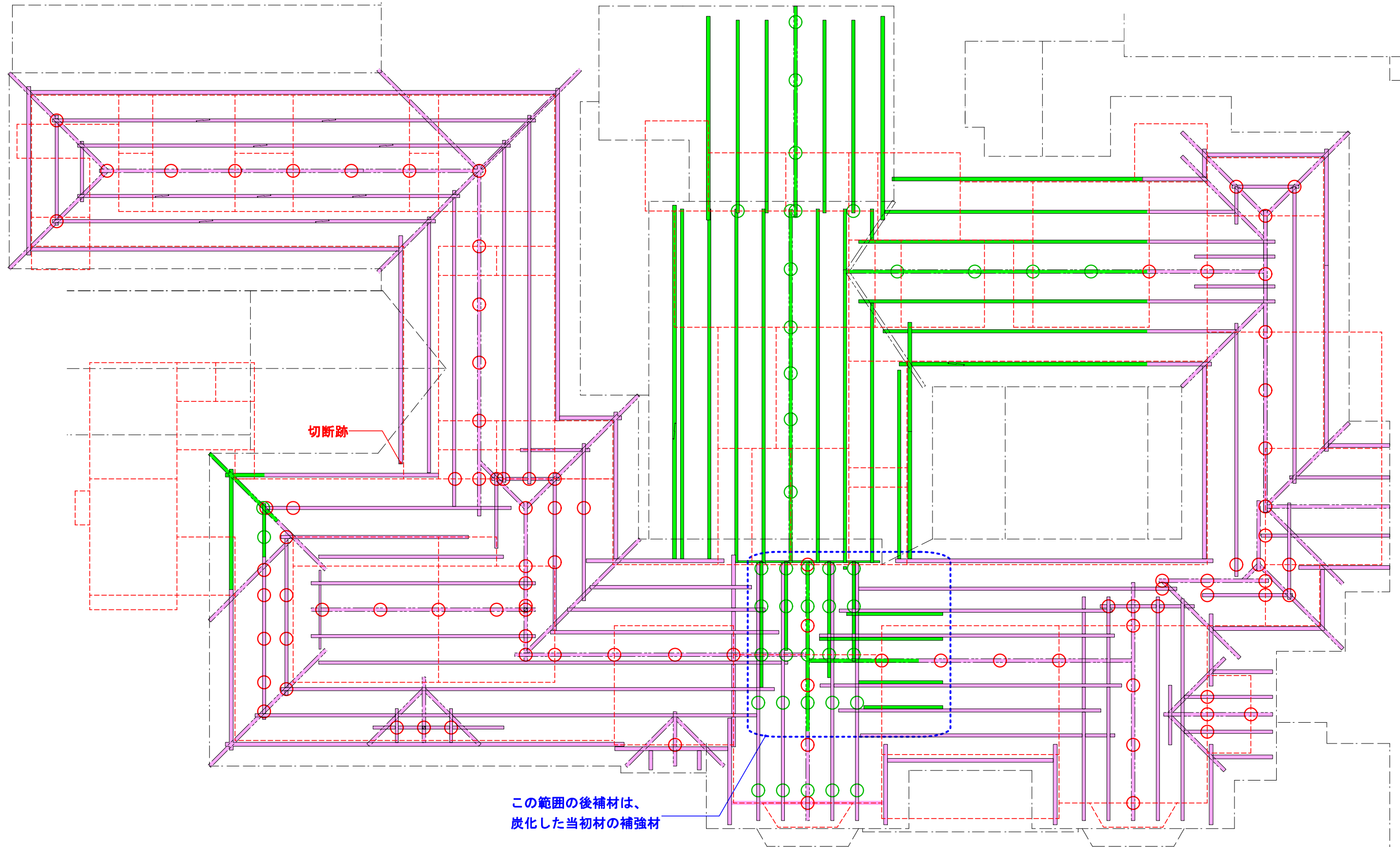


凡例	<ul style="list-style-type: none"> × 下部柱 ⊗ 下部柱痕跡 □ 東 90~115×90~115 ○ 下部束 ⊙ 下部束痕跡 --- 軒先先端ライン 	<ul style="list-style-type: none"> 数桁 125~150×120~125 梁 145~190×95~110 トラス一式(トラス) 下弦材 165~195×110~125 隅木 125~180×105 火打梁 95~150×90~120 頭繋ぎ 35~125×95~128 挟み梁 110×35 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火打ボルト Φ18程度 --- ボルト Φ18程度 --- 木製水平ブレース(時期不明) 35×105~110 --- 推定 --- 当初梁等(梁、桁) ○ 当初束 ● 後補梁等(梁、桁) ○ 後補束 --- 時期不明材 	<ul style="list-style-type: none"> ※ --- は、古図面及び現地調査で推定される当初間仕切線とする
----	--	---	--	--



切断跡

この範囲の後補材は、炭化した当初材の補強材

凡例		
□	束 90~115×90~115	当初梁等(梁、桁)
---	軒先先端ライン	○ 当初束
▭	母屋 100×100	■ 後補梁等(梁、桁)
▭	出桁 145~175×105~125	○ 後補束
▭	棟木・隅木・谷木 390~145×90~110	■ 時期不明材
		※当初材のうちの一部は、創建当初から転用材を使用していたと推定される部材あり
		※ --- は、古図面及び現地調査で推定される当初間仕切線とする